

上部消化管内視鏡検査
胃カメラの挿入について

当施設では上部消化管(食道・胃・十二指腸)検査で胃部内視鏡検査(胃カメラ)を実施しております。

胃カメラは、先端にカメラが付いている細い管を鼻または口から挿入し、胃の粘膜を観察する検査です。
鼻からカメラを入れることを経鼻(けいび)口からカメラを入れることを経口(けいこう)と言います。

鼻からと口からの検査には、こんな違いがあります

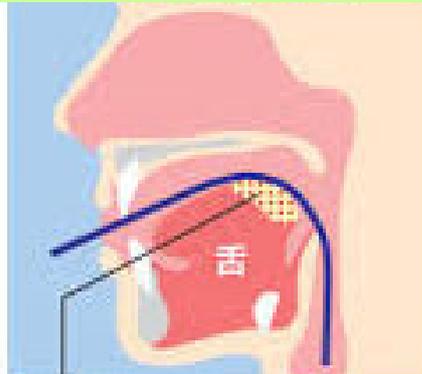
	経口	経鼻
嘔吐感	強い	弱い
挿入時のつらさ	強い	弱い
検査中の会話	できない	できる
組織採取	できる	できる

どうして口からは嘔吐感が強いのか？

舌の付け根あたりに嘔吐反射部があります。そこにカメラが触れると嘔吐反射が起きやすくなります。

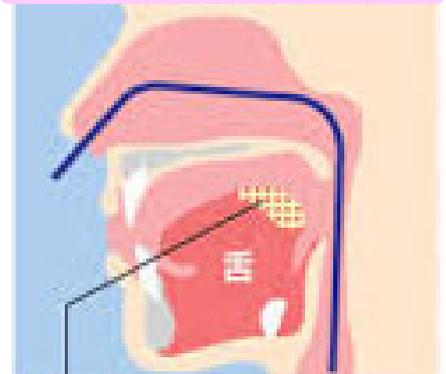
鼻からの挿入では、そこを通らないため不快な吐き気を感じにくいのです。

口からのルート



この部分に胃カメラが触れると吐き気を感じます

鼻からのルート



この部分に胃カメラは触れません

嘔吐反射が少なく、楽に受けられるため
経鼻での検査をお勧めしております。

個人差がありますので、ご自身が楽と思われる検査方法をお選びください